



ネギの微小害虫の防除を徹底しましょう！

ネギの葉を食害する害虫として、①葉に白い斑点を生じる**ネギアザミウマ**（写真 1）、②葉に白いすじを生じる**ネギハモグリバエ**（写真 2）、や③不規則な白斑や透明斑ができ穴が開く**ネギコガ**があります。ネギハモグリバエでは従来とは異なる別系統が出現し、激発すると、葉が白化したような著しい被害になるために問題となっています。また、**アブラムシ類**は、春と秋に寄生が多くなり、ウイルス病の媒介虫となるため注意が必要です。

これらの**微小害虫は、高温少雨の気象条件で多発生する傾向があります。多発生すると防除効果が劣りますので、発生初期～少発生のうちに防除を徹底してください。**



写真 1
ネギアザミウマによる被害と成虫



写真 2
従来のネギハモグリバエによるネギ葉の被害と成虫



写真 3
ネギハモグリバエ別系統による葉の被害

（写真 1, 2 茨城県病害虫防除所）

＜防除のポイント＞

- アザミウマ類など微小害虫は増殖速度が速いため、発生初期に短期間（一週間程度）で 2～3 回集中して農薬散布を行うと効果的といわれています。なお、抵抗性を助長させないために分類（コード）の異なる薬剤でローテーション散布を行い、散布後は必ずそれぞれの防除効果を確認してください。
- ネギは、薬液の付着しにくい作物ですので、薬液が付着しやすいよう、展着剤を加用してください。また、微小害虫は下葉や葉鞘のすき間など薬液のかかり難いところに生息するため、十分な量の薬液で株全体に散布することが重要です。

表1 ネギのネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、ネギコガ、アブラムシ類の主な防除薬剤

（令和 6 年 5 月 10 日現在）

薬 剤 名	柿 ^{アザミウマ}	柿 ^{ハモグリバエ}	柿 ^{コガ}	アブラムシ類	使用量または希釈倍数	使用時期 / 使用回数	分類
ベリマークSC	○ アザミウマ類	○ ハモグリバエ類			400 倍 (0.5ℓ/㎡等※灌注)	育苗期後半～定植当日／1 回	28
					2,000 倍 (0.5ℓ/㎡株元灌注)	収穫 7 日前まで／1 回	
スタークル顆粒水溶剤	○アザミウマ類	○ハモグリバエ類	○		50 倍 (0.5ℓ/㎡等※灌注)	定植前日～定植時／1 回	4A
ベストガード粒剤	○	○			5g/培土ℓ (育苗培土混和)	は種時／1 回	4A
					6 kg/10a (植溝処理土壌混和)	定植時／1 回	
	○				50g/㎡等※(使用土壌約 3～4ℓ) 散布	定植当日／1 回	
	○	○			6 kg/10a (株元処理)	収穫前日まで／3 回以内	
ディアナSC	○アザミウマ類	○	○		2,500～5,000 倍	収穫前日まで／2 回以内	5
ベネビアOD	○アザミウマ類	○ハモグリバエ類	○		2,000 倍	収穫前日まで／3 回以内	28
アグリメック	○アザミウマ類	○			500～1,000 倍	収穫 3 日前まで／3 回以内	6
アクタラ顆粒水溶剤	○	○			1,000～2,000 倍	収穫 3 日前まで／3 回以内	4A
ファインセーフフロアブル	○アザミウマ類				1,000～2,000 倍	収穫 3 日前まで／2 回以内	34
		○			2,000 倍		
プレバソンフロアブル5		○ハモグリバエ類	○		2,000 倍	収穫 3 日前まで／3 回以内	28
ハチハチ乳剤	○アザミウマ類	○	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで／2 回以内	21A
グレーシア乳剤	○アザミウマ類	○ハモグリバエ類	○		2,000～3,000 倍	収穫 7 日前まで／2 回以内	30
リーフガード顆粒水和剤	○	○	○		1,500 倍	収穫 7 日前まで／2 回以内	14
カスケード乳剤	○	○			4,000 倍	収穫 14 日前まで／3 回以内	15
スミチオン乳剤	○アザミウマ類				700～1,000 倍	収穫 14 日前まで／2 回以内	1B
			○		1,000 倍		
				○	1,000～2,000 倍		
ダイアジノン乳剤 40	○アザミウマ類				700～1,200 倍	収穫 21 日前まで／2 回以内	1B
		○			1,000～2,000 倍		
			○	○	1,000 倍		

- 注) 1. ※印は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊 (30×60cm・使用土壌約 1.5～4ℓ) を略しました。
2. 薬剤の中には、上記処理以外の登録もあります。各薬剤の成分別総使用回数を超えないよう十分に注意してください。
3. 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。